

ガラスはめ込み時注意事項 (必ずお守りください)

現場にてガラス工事を行う際は以下の点を必ず守って施工されるよう工事業者様へお伝え下さい。ガラス工事が建築工事などで別途の場合は現場監督責任者様へ当書類を提出の上内容のご説明お願い致します。誤った施工方法を行いますとパネル建付が大きく狂い、重大な施工不良の原因となるおそれがあります。

基本注意事項

1. ガラス施工の際はフレーム枠を実際に使用する間仕切位置に全数設置して丸落とし金具など固定金具は必ず全数作動させてから行って下さい。
2. 軸吊りパネルや潜り戸パネルなど片吊り方式のパネルはガラスの自重によってシールコーキングが固まる前に対角が狂うおそれがございます。必ず木クサビなどでパネル対角が狂わない様に段取りをしてから施工して下さい。前述作業を怠りますとパネルの対角が狂いケースハンドル等のラッチが掛からなくなったりパネルが開かなくなります。確実に下準備を行うよう指示を徹底して下さい。
3. シールコーキングはパネル両面全周シールコーキングを行って下さい。シールコーキング後は完全にシールが固まるまでパネルを動かさないで下さい。固定前にパネル操作を行うとパネル建付が大きく狂うおそれがございます。施工時の気温等で変化しますが通常シールが固まるまで1～2日程度必要となります。詳細はガラス業者様へご確認下さい。

個別注意事項

軸吊パネル (ヒンジ吊パネル) ・ 丁番パネル (オート丁番パネル)
 パネルセット後吊り元と反対側のパネル下部に木クサビ等を差し込みガラスの自重でパネルが下がらないようにして下さい。シールが完全に固まってからラッチ等が正常に作動するか確認します。

ペアーパネル
 パネルを所定の位置に設置してから丁番吊り元側の下場に木クサビ等を差し込みガラス自重でパネルが下がらないようにして下さい。パネルはシールが完全に固まるまでは絶対に動かさないで下さい。

潜り戸パネル ・ 門型潜り戸パネル
 パネルを所定の位置に設置してから丁番吊り元と反対側のパネル下部に木クサビ等を差し込みガラス自重でパネルが下がらないように固定してからガラスをはめ込んで下さい。潜り戸がフリーで動く状態でガラスをはめ込まないよう徹底して下さい。フリーで動く状態でガラスをはめ込み致しますとパネル対角が大きく狂うおそれがあり、施工不良になる可能性があります。

G S W 1 9 パネル
 縦力マチの見付寸法が少ないため、ガラス施工時のバックアップ材の反発力に負けてパネル中央部分がふくらむおそれがあります。ガラス施工時は全パネルを所定の位置に移動し丸落とし金具を全数作動させてからガラスはめ込み作業を行って下さい。バックアップ材は過不足ないよう適正使用して下さい。

万が一施工不良を起こして対角が狂った場合は一旦シールを切って対角を調整の上もう一度正規の方法でシールコーキングを行って下さい。

参考図

